

YWVOB会 会報 No.43

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

<http://ywvob.com/>

2009年12月26日発行

～ 43号の目次 ～

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| • YWVOB 会長ご挨拶・・・・・・・・・・・・・1 | • 苗名小屋便り・・・・・・・・・・・・・12 |
| • 2010 年度 OB 総会報告・・・・・・・・・・・・・2 | 高妻山山行記/小屋改造報告 |
| 新役員紹介/OB 総会・HCD に参加して | 2010 年度苗名小屋年間予定 |
| OB 会員近況報告（総会ハガキより） | • シニアの集い報告・・・・・・・・・・・・・14 |
| • 第 4 回 OB 会役員会報告・・・・・・・・・・・・・9 | • 自由投稿（再就職はケンタッキー）・・・・・・・・17 |
| • 第 26 回 OB 山行（荒船山）報告・・・・・・・・10 | • YWV 現役部員の活動紹介・・・・・・・・・・・・・19 |
| • 2010 年度の OB 山行の予定・・・・・・・・・・・・・11 | • 編集委員からのお知らせ・・・・・・・・・・・・・19 |
| • 第 27 回 OB 山行（伊豆ヶ岳）案内・・・・・・・・11 | |

■ YWVOB 会長ご挨拶

会長 鈴木弥栄男（9 期）

2009 年度の活動を振り返ると、①新役員の 8 名増もあってか、4 回開催の役員会に平均 15 人参加、②総務委員会の充実化と、創刊号、臨時号含め全部で 10 号のメルマガを発行、③OB 山行にシニア OB や初参加者が増加、④幅広い苗名小屋での活動や小屋改造工事、⑤会報の内容充実化、⑥現役との交流活発化、⑦複数期の合同同期会開催、⑧HP の定着化でアクセス数が累計 42000 回に、⑨部史編纂委員会の始動、⑩HCD に合わせた総会開催で参加者増など、織物で喩えると横糸の強化は勿論、縦糸が少しずつ織られてきたように思いますが、会員の皆様はどう感じたでしょうか。

更にワンダーフォーゲル史の研究者が現役 HP へアクセス後、創部 50 周年記念誌を提供して欲しいと依頼され、その後我が記念誌を国会図書館へ寄贈するまでに繋がり、また雑誌『山と溪谷』に OB が記事を執筆されて、全国に我がワンダーフォーゲル部の存在を広める結果になったのも特筆されるでしょう。

2010 年度の活動は 2009 年度の内容の更なる展開を図りたいと考えており、総会にてご承認頂いた方針で進めていく所存です。会則も一部改正されたので会員の皆様には HP 掲載にて周知させたいと考えています。その中で細則に当たる規程類は未制定のものが多いので順次整備して行く所存です。



写真提供 12 期 榎本氏

2010年度OB総会報告

幹事長 石川 真 (41期)

総務委員長 横溝 真司 (21期)

【実施日時/場所】 2009年11月8日(日) 常盤台キャンパス(経営学部講義棟2号館203)

(総会) 10:30~12:10 (懇親会) 15:00~17:00 (HCD 交流会会場にて)

【参加者】 吉野(2) 塚原(2) 吉村(3) 郡司(4) 亀井(5) 密島(6) 松本(7) 鈴木(7)
小出(8) 早坂(8) 早坂(8) 田中(8) 綾部(8) 松本(8) 溝田(8) 小谷(8)
鈴木(9) 山本(10) 安藤(11) 山川(12) 榎本(12) 白須(17) 小浜(17) 山口(18)
壺井(18) 笹木(19) 石垣(20) 西田(20) 武藤(20) 横溝(21) 白木(21) 山崎(22)
小野(34) 親跡(34) 後藤(39) 石川(41) 塩野(46) 現役/茂呂(51) 中野(51) 39名

【議事内容】

1) 定足数確認 (総務委員長)

定足数 25期 出席 37名 (21期) 委任状 15期を加え定足数に達している
議長 石川(41) 書記 白木(21)

2) 開会の挨拶 (会長)

昨年会長に就任して1年間経過、役員の数と若い期のメンバーを増やして、役員会の活性化を図った。今後は更に現役への支援拡充、交流を勧めるとともに期をまたぐ交流を進めていきたい。50周年の記念誌について、京都と東京の国会図書館に寄贈する等のトピックスがあった。

3) 2009年度事業報告 (各委員会より)

A) 幹事長一役員会報告・・・4回実施 (16名~17名参加)

B) 山小屋委員会・・・1-2月雪下ろし、3月春山行、4月樹液獲り(初の試み)、6月天地人城巡り、8月高妻山、9月小屋整備、10月小屋修理

C) 山行委員会・・・1月九鬼山 (15名参加)、5月皇海山 (21名参加)、10月荒船山 (15名参加)

D) HP委員会・・・開設以降42,000のアクセス、一日50回のアクセスで推移、山行記録等の公開を実施

E) 編集委員会・・・OB会報は例年どおり3回発行

F) 部史編纂委員会・・・部史編纂としてDB化を推進、資料のデジタル化を推進、スカイラインはPDF化完了

G) 総務委員会・・・メルマガの発行と発行に伴うメールリストの整備等を実施した。

4) 2009年度決算報告 (会計幹事) と 監査報告 (監査役) *別表参照

A) 一般会計・・・寄付は落ち込むものの、会費の拡大により会計は順調に推移、小屋40周年事業の費用、ワンゲルの小旗購入、現役の壮行会等、新規のことを捻出できた。

現預金総額8,154,012円 (内5,238,000円の特別準備金)

B) 小屋会計・・・小屋会計については宿泊費を現役管理にしていたが、OB会にて管理することに変更これにより当年度の収入は242,382円増えた。

C) 監査報告・・・決算報告書、添付書類については問題なし

5) 2010年度事業計画 (各委員会より)

A) 役員会・・・4回の役員会を実施予定。一般の会員も広く参加をしてもらえる様、メルマガ等を活用

B) 山小屋・・・1~3月雪下ろし予定、5月山菜、8月小屋整備、10月紅葉狩り、小屋の周辺で出来ることを考えていきたい。

C) 山行委員会・・・1/16伊豆ヶ岳、5/15川苔山、10/16赤城山を予定。2010年で10周年を迎えるが、記念山行は10回ごとに行っているの30回(来年)で行いたい。

D) HP委員会・・・メルマガとのリンクを検討

E) 編集委員会・・・年3回の発行を予定

F) 部史編纂委員会・・・歴史資料館の一部開館、部室保管資料のデジタル化、委員増員他

G)総務委員会・・・月1回のメルマガ発行を継続する。話題の連絡をお願いしたい。会則に則って規程類を検討していく。中途退部者の掘り起こしを推進する。

6) 2010年度予算提案(会計幹事) *別表参照

A) 予算案・・・会費について順調に回収予定、部史編纂事業での新規費用として、45,000円捻出
予備費20万円は、プロジェクター代+小屋委員会臨時費用+現役壮行会費用として使用

B) 小屋予算案・・・OB会+宿泊料金で180,000円予算、床貼り替えて200,000円を捻出

7) 3号議案～6号議案に関して、一括質疑応答、承認の採決

A) 床の基礎は大丈夫か? ⇒現状では多分大丈夫だと判断している

B) 会報の予算は昨年の実費ベースにならないか? ⇒変動費のためページ数等で調整

C) 今後の収支を検討した場合、山小屋の今後をどうするかを検討すべき。

⇒世代を超えて議論していきたい。

⇒2003年に山小屋は今後10年は小規模修理で継続可能と確認

⇒特別準備金の扱いについて、今後発生する費用等に対する対応も含めて今後検討

***採決・・・満場一致で承認された。**

8) 特別議題: 会則改正、特別準備金の今後の扱いについて(討議)、その他

・会則改正説明・・・一部表現の修正と、メルマガ等の新規活動について加筆をしていきたい。

第14条で「会計委員」を新設

第47条付議事項について総会の項目で「その他」を「会則改廃」に変更

会則は全員に配布していたが、今後HPにて公開することに変更

会則の別図としての組織図を説明、組織図は会則の最終ページに掲載

※特別準備金については今後役員会で原案についての議論を進めていくことを確認

***採決・・・満場一致で承認された。**

9) 役員改選および新役員の提案・採決

現役員について今回3名改選時期(06年就任者⇒3年経過)を迎えたが全員再任で提案する。

<再任> 会計幹事 吉野大次郎(2) 会計監査 榎本吉夫(12) 小屋委員 田中義人(34)

<新任> 会計委員(兼) 松本和之(29) (松本氏は現小屋委員会会計担当、会計委員を兼務)

編集委員 石垣秀敏(20)

***採決・・・満場一致で承認された。**

10) 新OB会員(4人)の承認・・・50期4名中3名がOB会入会を希望(石倉研 関知也 高岩玲生)
中途退部者1名が、OB会入会を希望(下田 昭・14期)

***採決・・・満場一致で承認された。**

11) 現役の活動報告(51期・主将 茂呂将典)

部員数・・・4年4名、3年6名、2年4名、1年2名(男性のみ)

夏合宿・・・南アルプス

秋山行・・・雲取山

常盤祭・・・カレー屋実施

今後の活動・・・リーダー山行

実施、12月新主将決定

12) 閉会の挨拶

(総務委員長)



写真提供

34期 親跡氏

2009年度一般会計予算実績

(2008.10.1～2009.9.30)

(09年度予算) (09年度実績)

前期繰越	1,375,173	1,375,173
------	-----------	-----------

収入

費目	予算	実績	差額
年会費	80,000	122,000	42,000
前納会費	358,333	366,667	8,334
一般寄付金	70,000	55,250	-14,750
小屋寄付金	130,000	113,750	-16,250
総会参加費	0	0	0
山行参加費	20,000	17,600	-2,400
名簿郵送関連	10,000	9,500	-500
その他収入	10,000	17,891	7,891
計	678,333	702,658	24,325

(前納会費 353,833 366,667)
 (延人員 212名 220名)
 (今年度納入 25名 31名)

特別準備金明細 2009.9.30現在

定額貯金	2,000,000	07.7.24
定額貯金	2,000,000	07.7.24
定額貯金	1,000,000	07.7.24
定額貯金	238,000	07.7.27
総合通帳	291	
計	5,238,291	

支出

費目	予算	実績	差額
会報作成・発行費	350,000	372,266	22,266
小屋会計振替	150,000	150,000	0
総会費用	50,000	54,000	4,000
山行費用	30,000	31,321	1,321
役員会費用	30,000	31,450	1,450
HP委員会費用	30,000	7,325	-22,675
部史編纂委員会費用	30,000	15,000	-15,000
名簿郵送費	5,000	4,027	-973
小屋40周年事業費	150,000	129,257	-20,743
その他支出(予備費)	50,000	51,464	1,464
計	875,000	846,110	-28,890

当期収支 -196,667 -143,452 53,215

次期繰越	1,178,506	1,231,721	53,215
------	-----------	-----------	--------

(前納会費繰延 1,308,333 1,360,000)

現預金 2009.9.30現在

現金	0
振替口座	400,557
総合通帳	2,515,455
定額貯金	5,238,000
計	8,154,012

その他収入内訳

関西支部	
解散清算残	14,551
預金利子	3,340
計	17,891

帳簿 2009.9.30現在

次期繰越	1,231,721
繰越前納会費	1,360,000
特別準備金	5,238,291
前受金	324,000
計	8,154,012

その他支出内訳

小旗	13,650
現役壮行会	31,660
その他	6,154
計	51,464

2009年度OB小屋会計決算

会計期間 2008.10.1～2009.9.30

前期繰越金(2008.10.1)	1,226,159 ①
------------------	-------------

2009年度収支計算書

収入	
OB会計より振替 ・小屋寄付金	150,000
現役小屋会計移管	192,825
小屋宿泊料金	49,557
預金口座利子	1,496
OB小屋会計収入合計	393,878 ②

*トイレ修理代立替金返済 150,000 ④

支出	
小屋地代	10,000
除雪費用	0
除雪作業補助	21,050
小屋整備修繕(DIY・床張替調査・他)	184,813
振込手数料	210
OB小屋会計支出合計	216,073 ③

*トイレ修理代立替金 150,000 ⑤

当期収支(②-③)	177,805
-----------	---------

次期繰越金(2009.9.30)	
預金(①+②-③+④-⑤)	1,403,964

2010年度一般会計予算案

(2009.10.1~2010.9.30)

(09年度実績(10年度予算))

前期繰越	1,375,173	1,231,721
------	-----------	------------------

収入			
費目	09年度実績	10年度予算	差額
年会費	122,000	100,000	-22,000
前納会費	366,667	370,000	3,333
一般寄付金	55,250	50,000	-5,250
小屋寄付金	113,750	100,000	-13,750
総会参加費	0	0	0
山行参加費	17,600	20,000	2,400
名簿郵送関連	9,500	10,000	500
その他収入	17,891	10,000	-7,891
計	702,658	660,000	-42,658

(前納会費 366,667 **370,000**)
 (延人員 220名 **222名**)
 (当年度納入 31名 **16名**)

特別準備金 09.9.30 10.9.30		
定額貯金	5,238,000	5,238,000
総合通帳	291	291
計	5,238,291	5,238,291

支出

費目	09年度実績	10年度予算	差額
会報作成・発行費	372,266	350,000	-22,266
小屋会計振替	150,000	150,000	0
総会費用	54,000	50,000	-4,000
山行費用	31,321	30,000	-1,321
役員会費用	31,450	30,000	-1,450
HP委員会費用	7,325	15,000	7,675
部史編纂委員会費用	15,000	45,000	30,000
名簿郵送費	4,027	5,000	973
小屋40周年事業費	129,257		-129,257
その他支出(予備費)	51,464	200,000	148,536
計	846,110	875,000	28,890

当期収支 -143,452 **-215,000** -71,548

次期繰越	1,231,721	1,016,721	-215,000
------	-----------	------------------	----------

(繰越前納会費 1,360,000 **1,150,000**)

次期繰越 09.9.30 10.9.30		
次期繰越	1,231,721	1,016,721
繰越前納会費	1,360,000	1,150,000
前受金	324,000	
特別準備金	5,238,291	5,238,291
計	8,154,012	7,405,012

2010年度OB小屋会計予算案

会計期間 2009.10.1~2010.9.30

前期繰越金(2009.10.1)	1,403,964	①
------------------	-----------	---

2010年度収支計算書

収入	
OB会計より振替	
・小屋寄付金	150,000
小屋宿泊料金	30,000
預金口座利子	0
OB小屋会計収入合計	180,000

支出	
小屋地代	10,000
除雪費用	0
除雪作業補助	50,000
小屋整備修繕(DIY・他)	60,000
床張替資材	200,000
振込手数料	1,000
OB小屋会計支出合計	311,000

当期収支(②-③)	-131,000
-----------	----------

次期繰越金(2010.9.30)	1,272,964
------------------	-----------

OB 会役員

◎・・・09.11.8 再任 ○・・・09.11.8 就任 ★・・・08.11.15 再任 ☆・・・08.11.15 就任 □・・・07.11.10 就任

会長	鈴木弥栄男(9) ☆	OB 小屋委員	郡司直樹(4) ★ 諸角壮士(5) ★
幹事長	石川 真(41) ★		菅谷光雄(6) ★ 小口雄平(14) ★
副幹事長	西田雅典(20) ☆		鈴木道夫(14) ★ 向井良作(18) ☆
会計幹事	吉野大次郎(2) ◎		笛木久栄(19) ☆ 笹倉 実(30) ★
会計委員(兼)	松本和之(29) ○		安本健一(30) ★ 田中義人(34) ◎
総務委員長	横溝真司(21) ☆		親跡冬樹(34) ★ 村山浩樹(34) ★
総務副委員長	武藤功二(20) ☆ 白木政隆(21) ☆	OB 小屋委員会会計担当	志賀 圭(44) ★ 松本和之(29) □
総務委員	影井康弘(34) ★ 田村顕洋(34) ★ 渡邊隆史(36) ★	編集委員長	下村蓉子(10) ★
		編集委員	松本真理子(8) ★ 石垣秀敏(20) ○

OB 山行委員長	小野恵美子(34)★	HP 委員長	吉村元孝(3)□
OB 山行副委員長	小浜一好(17)☆	HP 副委員長(兼)	鈴木弥栄男(9)□
	山口貢三(18)☆	部史編纂委員長	嘉納秀明(1)□
OB 小屋委員長	安藤貞利(11)☆	部史編纂副委員長	塩野貴之(46)□
OB 小屋副委員長	後藤誠史(39)☆	監査役	榎本吉夫(12)◎

新役員紹介

編集委員 石垣秀敏 (20期)

新しく編集委員になりました20期の石垣です。50歳も超えますと昔のことが懐かしくなるのか、ここ何年か10代、20代時代の仲間と集まる機会が特に増えてきました（といっても、集まってすることは飲み会ですが）。YWVの同年代の仲間とも宴会や旅行などで遊ぶことが増えてきました。やはり、昔の仲間は良いものです。何年・何十年ぶりであっても、すぐに昔に戻れます。その楽しい記憶を集まった仲間と思い返して更に楽しむ為に、ホームページを作成してみました。基礎知識もない文科系の人間ですので、簡単な写真や文章の稚拙なホームページですが、新しい試みとして参加した仲間には受けた様です（と思います）。どうもそれが理由で「OB会の編集委員をせよ」との命令(?)になってしまった様です。今まで30年近く、何もOB会に貢献できていませんでしたので、微力ではありますが何かお役に立てればと思い、編集委員を引き受けさせていただきました。OBの皆様「役に立つ、楽しめる」ことを念頭において、編集委員の仕事をしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

会計委員 松本和之 (29期)

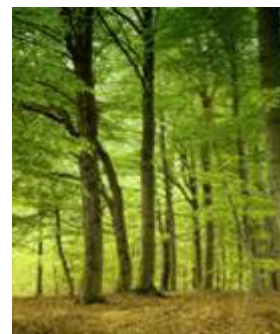
このたび会計委員に就任致しました29期松本です。2年程前から小屋委員会の会計を担当させて頂いておりますが、それと兼務と言う形での就任となります。OB会の会計業務は小屋会計と比べて規模が大きいので、業務をこなしていけるかどうか心配ですが、2期吉野さんの教を請いながら従事していければと考えております。なお、私の日常は八王子の某計測器メーカーで測定器の研究開発に従事しており、経理（会計）業務とは縁がありません。しかし帳簿をつけることは子供の頃からありましたので経理業務自体に縁があると感じています（両親が私に珠算、簿記を習わせたのは家の業務を手伝わせたかった疑いあり）。宜しくお願い致します。

YWVOB 総会・HCDに参加して

<30年の森と50年のワングル>

鈴木 博子 (7期)

常盤台の森の中を歩いた。色々の樹木が、うっそうと茂っている。青々と茂る大木、紅葉した枝、ドングリの実、落ち葉、小鳥のさえずり。もと、ゴルフ場とは思えない豊かさである。30年の森は、植生に応じて様々に生きている。ワングルOB会は、50年を越えて、私のように遅れて芽吹いた（何時しおれるか〜体重は別〜分からない）ものさえも支えて、森よりも遥かに永く生きている。OB総会は、その幹を支えている根っこのようなもの。OB総会に出席した。計画、人、会計、諸事項を明確に伝えてくれる。多くの人に支えられていることが分かる。



先輩方のご苦勞が、後輩にもしっかり受け継がれていることが分かる。若返りが、徐々に進んでいる。この場にいると皆、同年代に思えてくるのは、私だけなのだろうか。現役の参加も嬉しい。

こんな時代もあったかと、また同化したい思いが湧いてくる。引き止めたい仲間であっても涙を飲んで、出入り自由の原則は、何とおおらかなことか。「苗名小屋」のことは、吃驚してしまった。昨年40周年、初参加の小屋。永遠の存在かと・・・「人の限りある命と責任、続く部員のために何が出来るか、協力頂いた人々

や地域に「如何すれば良いのか」将来の最良の終わり方を考えておこう。この話題である。今を、アップアップ生きている私にとって、この悠久の流れの中に生きる、常盤台の森の風の爽やかさを感じた。そして、暫く自然の中に自分を溶け込ませ、良い仲間と過ごしたいと考えた。

山川 隆 (12期)

前週に続き再び保土ヶ谷へ。11月8日(日)は大学のホームカミングデーと我がYWVOB総会でした。ここ2回ほど総会の開催時刻とホームカミングデーのプログラムがかぶってしまい、ホームカミングデーを優先せざるを得ず総会を失礼してきましたが、今回は総会に出席。50周年はパーティーに参加、昨年はHCD交流会でYWVテーブルに参加したために、皆さんの顔はほとんど分かりました。現役が少し増え16名になったというのは本当にうれしいことです。それにさすがにYWVのOB総会ですね。事業報告・計画、収支報告・予算、各委員会の活動報告など、非常にきちんとしていることに改めて感激しました。

個人的にはここ10年以上、膝の痛みで山から遠ざかっていましたが、今年の初めからジョギングとスクワットで根気良く、少しずつ負荷を高め、トレーニングレベルでは膝の痛みが出ないので、8月に山小屋に行き、火打、妙高に登り、9月には中央線笹子にある滝子山に登り、下りで膝が痛くならないことを確認しました。そうなってくると、総会で発表されたOB山行の計画が俄かに現実味を帯びてきます。YWVの仲間と山に登る日を楽しみにしています。

山崎 晃 (22期)

私のOB総会出席状況といえば、直近では弘明寺での50周年総会を始め、数回程度であった。

しかし、今年の総会は、4回目となるHCDと同時に開催され、しかも、総会参加者にはHCDパーティー代が千円安くなるとのことであった。これが、今回参加した大きな理由であった。今後の総会にも、このようなちょっとした‘おまけ’があると参加率がもっと高まっていくものと思う。

ところで、何年か振りのキャンパスでは、木々が大きくなり緑が多くなったことが特に印象に残った。世の中の喧騒から離れ、暫し心の安らぎを覚えた。

さて、総会では、今後の小屋のあり方など真剣な話し合いもあり、問題意識を持ったOB諸氏がいることを誇りに思った。一方で、参加者に世代間のバラツキがあり、次世代にこの良き伝統を如何に引き継いでいくかが課題ではないかと感じた。

総会後の食堂でのHCDパーティーでは、学部単位と同窓会に分かれている中、ワングルだけが一つの場所で他とは違う盛り上がり方をしていた。これも良き伝統の一つではないだろうか。

YWVOB 会員近況報告 (総会ハガキより)

総務委員 (名簿係) 渡邊隆史 (36期)

期	姓	名	近況
	田中	裕	老来出不精となり、諸兄にお目にかかる折を得ませんが、会報はなつかしく拝見しています。ご清栄を祈ります。
1	田上	栄一	元気にしております。
1	吉田	光志	町の環境活動と文書館での歴史資料整理等のボランティア活動で、それに又加齢性ボケなのか一日の24時間の速さをつくづくと感じています。幸いのこと、地球の自転速度が上がっているとは、まだ疑っていません。
1	望月	元雄	老々介護の毎日でなかなか家を空けることが出来ません。総会OB山行にも時間がとれず出席できません。あしからず。皆様の健康と活躍をお祈りします。
3	井上	肇	どこそこへ行って下さいとの連絡が入ると、出かけることをまだ続けています。従って麓から山を眺めては帰ってくるようになります。今年は米子で伯耆大山を、伊予西条で石鎚山を

			眺めてきました。両方共街にアーケード街がありましたが、閉まっている所が多く、今の地方の現状とはこんなものかと、変な納得をしてしまいました。
3	白井	信行	シニアOB会活動を通じて楽しくやらせていただいています。今後共よろしく願います。
3	平林	茂	総選挙が1年ものびのびになったので疲れ気味ですが、まあ元気にやっています。
6	菅谷	光雄	車椅子生活になって、動き回って楽しむことが難しくなりました。そこで私も「自分史」をじっくり纏め始めました。それとTVドラマ「官僚達の夏」を見て昔を思い出し、血湧き肉踊らせたりしております。
7	鈴木	博子	めずらしくおつきあいのつもりで出した書展で賞をもらいました。これからがんばってというのでしょうか。いろいろいそがしくしています。
8	綾部	和子	今年の夏は念願だった白馬岳に夫と行ってきました。過去に3回ほど計画したのですが、台風etcで断念し、やっと実現しました。2泊3日とも天候に恵まれ、様々な高山植物と3000m級の山々を間近に眺めながらの山行を楽しむことができました。7人用の個室から剣岳を見ることができ感激しました。
8	池原	盛彦	いろいろと騒がしく、忙しく、楽しく、適度にストレスを感じつつ動き回っております。
8	田中	稔	膝や靭帯を労わりながら月1回のシニアOB山行を楽しみにしております。
9	日渡	松男	谷上さんの写真展に行きました。生憎本人には会えませんでした。仲間の方が親切に説明してくれました。丹沢にも色々な花が咲いているので、為になりました。他の山でも参考にしようと思い、写真集購入しました。これを機に花の名前が覚えられると良いのですが。(メール) 9-12期合同OB会、8-9期合同OB会が開催され、久しぶりにお会いする方々が多く、大変懐かしかったです。同じ山行に参加したメンバーに会えるので良い企画だと思いました。最近の山は中高年者ばかりなので若いOBも是非山行を再開したらどうでしょうか?(ハガキ)
10	下村	蓉子	今年もOB会報編集を担当させていただいています。8月末、現役部員さんの夏合宿壮行会に参加し、現役さんの見事な食欲と元気いっぱいの会話に感激し、YWVのパワーを感じました。YWVとYWVOB会がますます元気に発展していくことを祈っています。
10	山本	陽一	9/17~27キリマンジャロに遠征しました。なんとかUhuru Peakに到達しました。
11	丹羽	守裕	先日、9-12期の集まりに参加させて頂き、皆様大変アグレッシブに活躍されておられ、刺激を受けました。OB会活動にご尽力されている皆様にはいつもながら御礼申し上げます!
12	山川	隆	8月に何十年振りかで苗名小屋に泊まりました。今回は火打、妙高に登りました(黒沢池ヒュッテ1泊)。今まで下りで膝が痛くなるため長らく山行はしていませんでしたが、今回は年初からトレーニングを開始、時間を掛けて少しずつ脚の筋肉への負荷を高め、その成果のほどを試しました。幸い膝の痛みは出なかったため、このトレーニング方法は正解だったのかもしれない。断定する前にもう少し山行を試みます。
18	山口	貢三	9月に18期有志で安達太良山と蔵王山に行きました。学生時代に戻ったような楽しい山行となりました。詳しくはHPを見て下さい。
19	石井	忍	7月、8月は塾の夏期講習で忙しく、9月は引越し準備、10月からは新しい仕事を探す予定です。山へはだいぶ足が遠退いています。現在はもっぱらゴルフで自然を感じています。
19	笛木	久栄	4月から横浜山手の西洋館で働き始めました。6月には1泊2日で苗名小屋に行けたものの、当初予定していた程は、山小屋委員として十分お役に立てず申し訳なく思っています。
19	林	厚子	体力もずいぶんおちてきましたが、今夏は夫と涸沢~北穂~ザイテン~涸沢と山行を楽しみました。あこがれの北穂に登り、北穂小屋に泊まり満足でした。
30	福田	幸治	5月に子供(中1と小5)と初登山に行きました。天気もよく久しぶりの大倉尾根を堪能してきました。コース:大倉-(大倉尾根)-塔ノ岳-(表尾根)-三ノ塔-大倉
31	松尾	真治	バンコク日本人学校に派遣されて、タイ生活も1年半になります。タイや東南アジア諸国の

			大自然をしっかりと楽しんでいます。
36	渡邊	隆史	5歳の長女を初めての登山に連れて行きました。愛媛・高知県境の寒風山はちょうど紅葉の盛りでしたが、娘には頂上で作ったラーメンの方が思い出に残ったようです。

【愛媛県・寒風山にて】→
36期 渡邊隆史・愛ご夫妻と愛娘



■ 第4回 OB会役員会報告

副幹事長 西田 雅典 (20期)

10月24日(14:00~17:00)、川崎市多摩市民館で開催しました。14人の役員および現役主将が出席し、11月の総会議事内容についての討議を中心に活発な議論が交わされました。

終了後は賑々しく恒例の懇親会が行われました。

【出席者】 嘉納(1)、吉野(2)、吉村(3)、松本(8)、鈴木(9)、下村(10)、安藤(11)
山口(18)、笛木(19)、武藤(20)、西田(20)、白木(21)、横溝(21)、小野(34)
オブザーバー：茂呂(51 現役) 15名

【議事：要旨】

- 1) OB 総会段取り確認
- 2) 会則の改正と規程類の整備
 - ・会計業務の補強を目的として「会計委員」を新設(会則14条)
 - ・第3条(事業)5、6項追加(メルマガ、HP、メーリング整備)
 - ・現役との交流促進のため役員会運営規程に現役のOB会参加を明記
 - ・プロジェクター購入の持回り審議は緊急性により今回は特例扱いとする
- 3) 役員の変動他
 - ・改選役員3名の再任(吉野、榎本、田中) ・石垣(20期)役員新任(事後審議により編集委員新任)
 - ・松本(山小屋会計担当)の会計委員新任 ・部史DB化のため編纂委員増強：金田(3)、谷上(4)、横溝(21)(兼務) ・新会員承認(5人)は要確認
- 4) 小屋整備中の自動車損害(事故)
 - ・公務であり一般会計から充当。事故処理細則を今後、検討
- 5) 特別準備金の扱い(現役の遭難対策は保険でカバー済み)
 - ・山小屋臨時費用など活用方法を今後、現役とも議論し検討
- 6) 09年度予算実績報告、監査報告の確認
- 7) 10年度予算案審議(部史45千円、小屋臨時費用80千円他)
- 8) 各委員会活動計画説明・討議
- 9) 次回会報12月送付(11/22原稿締め)、メルマガ11/1発信
- 10) 50周年記念誌の国会図書館寄贈につき確認

次回役員会

2010年1月30日(土)

14:00~17:00

場所：シーフォーレ

*JR 鶴見線弁天橋駅降りてすぐ前にあるビル(徒歩30秒)

・弁天橋駅はJR鶴見駅から鶴見線で5分
・鶴見線：13:30→13:35 14:00→14:05

■ 第26回OB山行（荒船山）報告

OB山行副委員長 小浜一好（17期）

日程：平成21年10月17日（土）

参加者：嘉納（1）、塚原、吉野、渡辺（2）、谷上（4）、小林（7）、鈴木（9）、安藤、丹羽（11）、榎本（12）、小口、狩野（14）、小浜（17）、小濱絵梨（家族）、小野（34） 参加人数計15名（敬称略）

遠くから望むと荒海を航海する船を思わせる異様なフォルム。クレヨンしんちゃんの作者の転落事故で一気に有名になった荒船山である。事故が参加人数に影響しないか懸念されたが、結局15名といつも通り？であった。新顔は11期丹羽さん。還暦を迎えた証の赤いキャップで颯爽と登場、たまに山に出かけているようで、これを機会に是非常連になっていただきたい。

集合は8時30分、上信越道下仁田ICから10分程度の道の駅「しもにた」に車で三々五々集まった。その後、下山口である相沢に車2台をデポし、登山口の荒船不動尊で1時間以上お待たせした小林さんと合流し、全員集合。お不動様に登山の安全を祈り、記念写真撮影を済ませてから9時45分出発。このルートはガイドブックではサブルートとなっているが、登山道はよく整備されており、一部沢筋を横切る時に多少荒れた部分がある程度でお薦めのコースであった。



←登山口
荒船不動

経塚山山頂
→

写真提供
4期谷上氏



今回の一番の参加人数を誇るのが2期の強力トリオ、塚原、吉野、渡辺各氏。1期の嘉納前会長を含めて、齡古稀以上と察せられるが、とても見えない若々しさ。山をやる人は何時までも颯爽としているのか、我々後輩もお手本として見習いたい方々である。谷上さんはおなじみ専属カメラマン、記念写真ではいつも通りのとぼけた味にその他全員からの突っ込みの構図。鈴木会長は愛娘がアーティスト。安藤さんの昼食のラーメンはいつもうらやましい。榎本さんは笑うと目がなくなることを発見。小口さんとは今や同業者で今度、東京での委員会を一緒にすることに。狩野さんの昔から下級生が憧れたクールな美貌は衰えなし。そしてOB山行と言えば小野委員長。看護師の勉強やアルバイトに多忙な中でOB山行には全回参加、これからもよろしく！

11時15分、荒船山最高点の経塚山（1423m）到着。その後、トモ岩までの山頂の稜線は笹と雑木林に覆われた幅広い溶岩台地で、あの岸壁に囲まれた山の上だとは思いつかない平らな散歩道だ。尾根筋の微妙なアンジュレーションに小さな沢も流れている。12時、トモ岩到着。下は断崖絶壁で気をつけたい。眺望は晴れていれば浅間山や妙義山が望めるのだがこの日は残念。展望台にはそこから転落したと思われる作者を偲ぶ献花があり、普段山では見かけないような格好の若い人たちが慰霊のためであろうか、集まっていた。昼食休憩後、12時40分下山開始。本隊11名は車をデポした相沢へ向かい、ベテランワンダラー2人（塚原、渡辺両氏）と小浜親子は荒船不動へ戻る。帰りには全員、「荒船の湯」で集合し疲れを癒した。やはり山と温泉はセットですよ。帰りの途中、個性あるドライブインで、下仁田こんにやくを使った味噌田楽の食べ放題を堪能した（何と200円！）。狩野さんはでかいのを3本平らげていた。多分美容にも効果があるのだろう。皆様、次回2010年1月16日（土）伊豆ヶ岳でまた一緒にしましょう。

歩行距離約6.5km、高低差 登り約350m 下り約850m、所要時間5時間（休憩含む）

（追伸）OB山行2回目の娘を連れて行ったが、温かく迎えていただき深謝。

■ 2010 年度 OB 山行の予定

OB 山行委員長 小野恵美子 (34 期)

例年どおり年 3 回の OB 山行を予定しています。詳細は今後の会報やメルマガでお知らせしていきます。まずはスケジュールをあけていただければと思います。OB 山行に難しい規則はありません。初参加の方も、登山は久しぶりの方もどうぞお気軽にご参加ください。

- 第 27 回 伊豆ヶ岳 (いずがたけ) 2010 年 1 月 16 日 (土) 下記ご案内参照
- 第 28 回 川苔山 (かわのりやま) 2010 年 5 月 15 日 (土)
※ 奥多摩の代表的な山の一つ。新緑の山歩きを楽しみます。
- 第 29 回 赤城山 (あかぎやま) 2010 年 10 月 16 日 (土)
※ 紅葉と展望を楽しみに、上州の百名山に足を延ばします。

■ 第 27 回 OB 山行 (伊豆ヶ岳) 案内

OB 山行委員長 小野恵美子 (34 期)

次回 OB 山行は奥武蔵の伊豆ヶ岳を予定しています。登山口の子(ね)ノ権現は足腰守護の神仏を祀るお寺です。ここで一年の登山の無事と健康を祈願して、歩き始めます。低山ながら適度なアップダウンがあり展望も楽しめます。下山後は 18 期向井良作さんから現地別荘へのご招待があり、新年会を予定しています。初詣と新年会が付いたスペシャルコース！ぜひご参加ください。新年会のみのご参加も OK です。賑やかに親睦を深めましょう。



- [日 程] 2010 年 1 月 16 日 (土)
- [行 先] 伊豆ヶ岳 (いずがたけ) (850m)
- [地 図] 昭文社山と高原地図「奥武蔵・秩父」
- [集 合] 西武秩父線 吾野駅 8 時 30 分
車で直接登山口に行かれる方は 子の権現に 9 時
(駅でのピックアップ、向井さん別荘にデポ車を
置く等、事前に調整します)
- [交 通] 西武池袋線・秩父線直通快速急行 池袋 7:04～ (東飯能 7:56) ～吾野 8:15
八高線 八王子 6:59～東飯能 7:41 →上記西武線に乗り換え
- [行 程] 子の権現—天目指峠—中の沢の頭—高畑山—古御岳—伊豆ヶ岳—花桐集落 (向井さん別荘)
[歩程 4 時間 20 分]
- [参加費] 500 円 (写真代等)、 新年会にご参加の方は会費として 1000 円
- [持ち物] 昼食、水、おやつ、雨具、防寒具、その他登山に必要な物
- [新年会] 向井さんの別荘には手作りの素敵なログハウスもあり見学できます。
新年会は 15 時頃から 17 時頃までを予定。ご希望の方は入浴・お泊りも大歓迎とのことです。
- [申込み] 配車の調整、新年会の食材準備等の関係上、早めに人数の把握をしたいので、
できるだけ年内に下記のいずれかにご連絡ください。
お申し込みの際、次の点をお知らせください。
 - ・参加形態 (登山のみ、新年会のみ、両方に参加)
 - ・交通手段 (電車、マイカー)
 - ・向井さん別荘へのお泊り希望の有無

小浜 一好 (17 期) 電話 : 090-8647-7275 メール : kohamak@dream.com
山口 貢三 (18 期) 電話 : 090-9962-7126 メール : k2syamaguchi@nifty.com
小野恵美子 (34 期) 電話 : 080-5517-7320 メール : emiko150@s9.dion.ne.jp

■ 苗名小屋便り

小屋山行 高妻山山行記

OB 山行副委員長 山口貢三 (18 期)



50 周年記念に妙高山、山小屋 40 周年には火打山と小屋起点の山行が続くと、次はどこに行こうかということで、高妻山山行はこうして計画されました。真夏だというのに、いわし雲が浮く秋に似た朝の涼しい空気の中、元気に戸隠牧場を出発しました。2 時間くらいで不動避難小屋に到着したのですが、鈴木道夫さんが突然現れるサプライズもありました。

高妻山までの道中には仏の名前がついた十の祠があって、二釈迦、三文殊、四普賢を数えるとまもなく五地藏山に到着します。ここまで来て初めて高妻山が見えますが、そのスックとした山容はさすが百名山、名に恥じめ立派な山ですね。その後、六弥勒、七薬師、八観音と数える頃には真夏の太陽が容赦なく肌を射すようになり、朝の爽快さはどこへやら、長丁場と急登に全員の足は鈍る一方でした。九勢至から最後の急登を登り切った所が十阿弥陀で、高妻山山頂はすぐ隣にあります。そしてついに深紅の YWVOB 旗が山頂に立ちました。



ここでは 360 度の大展望が楽しみ、西に目を凝らすと笠ヶ岳、槍ヶ岳、後立山連峰、立山、剣岳、北には雨飾、焼山、火打、妙高が連なり東には苗場、浅間も見えます。



弁当は小屋で作ってきたおにぎりですが、各自で握ったその味はどうだったでしょうか。往路を六弥勒まで戻り、五地藏山から派生する弥勒尾根を下りました。下山後温泉にも入り、苗名小屋で恒例のバーベキューと花火でフィナーレとしたのでした。

いかがでしょう。こうした山行を機に苗名小屋に泊ってみませんか。さて苗名小屋を利用して次はどこへ行きましょうか。最後に、前夜到着する関東組を、食事を作って待っていてくれた親跡さん、小口さんありがとうございました。願わくば次回もよろしくお願いします。

小屋改造報告

小屋委員長 安藤貞利 (11 期)

9 月のシルバーウィークに 9 名の OB、OG が集まり、小屋改造に取り組みました。1 階の南側の斜め壁を垂直にして、棚を作って居住性良く使えるようにしました。

今回は、初日の資材買い出しで車のアクシデントが続き、1 回目は岡田製材所で、2 回目は小屋に入る山道で妙高モーターズの JAF を呼ぶことになりました。

2 日目、3 日目は、雨に降られることもなく順調に仕事が進み、壁の修理を終えたのですが、4 日目はさすが

に力をつけて、床をはがして内部を見るところまでやってみようと手を挙げる人はいませんでした。床は来年に持ち越されました。

2日目に14期の下田さんがご家族との旅行の途中立ち寄られ、現役以来の小屋を懐かしく見て行かれました。今回の試みで、透明窓を3重にして冬の小屋の寒さ対策をしました。これまで窓は透明プラスチックの波板一枚で、風を遮断するだけで全く断熱の役割をしていませんでしたが、波板の内と外にポリカの薄い透明板を入れました。光は多少遮られても、寒さ対策には役立つはずですが、また、小屋建設時に使っていたストーブ煙突を40年ぶりに外し小屋内部がすっきりしました。

来年はいよいよ床の張替えです。基礎のブロック、礎石の手直しも床工事に合わせて行います。ぜひ、皆さんの力をお貸し下さい。



2010年度苗名小屋年間予定

※雪下ろし 冬に3回の雪下ろしを行う予定ですが、雪の降り具合によってはさらに1回雪下ろしを追加することもあります。雪下ろしは、最近1月に雪が多く、人手が足りないことがありますので、1月の雪下ろしに奮って参加をおねがいします。2月の雪下ろしは、現役中心にして行い、3月は雪下ろしの他に、イタヤカエデの樹液採り、笹ヶ峰方面への雪上散策の行事も入れて、小屋活動と春の雪山の楽しみも取り入れます。

※春の山菜採り、秋の茸採り 季節ごとの行事を入れて小屋ライフを広げていきます。

小屋周辺は、寒暖の差があり、霧も発生するキノコ栽培には最適という話もあり、春にキノコのホダ木をつくり始めます。

※小屋の整備 今年は長年の湿気で痛んでいる床を張り替えます。断熱材を入れることで、冬に床が冷たいと感じることはなくなるでしょう。より快適な小屋にすべく手を加えてきました。

また、昨年に続き小屋の周辺の山行も行事として取り上げていきたいと思えます。

苗名小屋は、昨年築40年となり、多くの人に使ってもらうため、2階床拡張、トイレ修理、台所の改造、棚の拡張と小屋整備を進めてきました。

一方では、現役部員の減少により、小屋の維持がOB中心に行わざるを得ない状況で、将来の小屋の維持をどうしていくのかという問題も提起されています。今後、小屋の将来について多くのかたにご意見を頂き考えていきますので、よろしくお願ひ致します。

1月23日(土)24日(日)	第1回雪下ろし(雪の降り方により雪下ろしを追加することもあり)
2月20日(土)21日(日)	第2回雪下ろし
3月20日(土)21日(日)22日(月)	第3回雪下ろし イタヤカエデ樹液採り 屋根ペンキ塗り
5月29日(土)30日(日)	春の小屋行事、山菜採り 雪囲いを外し、水を通す
7月17日(土)18日(日)19日(月)	小屋山行、草刈り
8月13日(金)14日(土)15日(日)16日(月)	小屋整備活動 床板の張り替え
10月9日(土)10日(日)11日(月)	秋の小屋行事、紅葉刈り、茸取り
10月30日(土)31日(日)	小屋閉め 雪囲いの取り付け

■ 第21回 シニアの集い報告

吉野大次郎 (2期)

第21回シニアの集いは2009年10月25日(日)～26日(月)、奥日光の湯元温泉「湯守釜屋」で開催されました。過去20回は土日で開催していましたが、今回は初めての試みとして、日曜日～月曜日という休日～平日の日程で開催しました。

また日光は、東京より北では初めての開催地です。関西方面からの参加者はわずか1名でしたが、平日にもかかわらず総勢は53名と平年並みの参加者でした。

初日は自家用車15台と電車で登山口に集合し、日光白根山、鳴虫山、戦場ヶ原と3つのコースに別れて歩き、夕刻湯守釜屋に集まりました。

集いの宴は18時30分、7期の服部、小林両氏の司会により、郡司幹事長の開会の辞で始まりました。3期塩谷さんの乾杯の音頭、集いと月例会の参加回数賞表彰、各期紹介、シニアの活動2009(スライドショー)、当日3コースの写真投影、みはるかす合唱、エール交歓、記念撮影と息つく暇もなく進行し、予定時間をかなりオーバーしてしまいました。

宴のあとは、大部屋や各期、各部屋ごとの2次会で、夜の更けるまで話が弾みました。

2日目は生憎の雨模様で、男体山と大真名子山の2つの登山コースが中止になり、西ノ湖、千手ヶ浜散策コースだけが短縮して開催されました。

登山中止になったのは8年ぶりです。散策コースには、中止になった登山コース組からも数名加わり、大人数になりましたが、雨の中、紅葉を眺めながら楽しく歩きました。

今回表彰された方々は下記のとおりです。

- * 集い 20回賞 宮崎 (2)
- * 集い 10回賞 細田 (7)、南雲 (7)、綾部 (8)
- * 月例 50回賞 永井 (6)、小木曾 (7)



【1A】日光白根山 参加人数・・・21名(登山20名)

早坂 宗(8期)

紅葉のベストシーズンの日曜日で、道路の渋滞状況が気になる集合でしたが、皆さんの早出のお陰で丸沼高原スキー駐車場に予定より20分も早い10時に全員が揃うことができました。

沼田駅で3名をピックアップし、駐車場まで運転してくれた池原さんが、山には登らず宿に直行することになり、団体割引適用ギリギリの総勢20名が8人乗りロープウエーに分乗しました。

天気は曇天で雲も低く垂れ込め、山頂駅に着いても白根山の全容がはっきり見えませんでした。それでも出発前の記念撮影をし、10時20分勇躍出発。コメツガやオオシラビソの原生林の中を登り出し、3ピッチで樹林帯を抜けた途端、強風で寒い。着込んで寒さを凌ぎながら岩屑の堆積した急傾斜を登り、白根権現が祀られている南峰に着いたのが12時40分過ぎ、山頂との間にある岩峰に囲まれた窪地で風を避けながら昼食休憩をとりました。攀じ登った奥白根山・山頂には時間が遅いせいか他の人は居ませんでした。山頂が狭いため轟き合って記念写真を撮りました。ガスで五色沼も前白根山も見えないため早々に下山にかかりました。イワツバメが飛んでいます。山頂からの岩場の下りに手こずり予想外に時間がかかってしまいました。弥陀ヶ池からの下りは2ピッチで頑張り山頂駅に16時10分に帰着、ロープウエー終了20分前でヤレヤレ滑り込みセーフでした。ロープウエーでの下りは所々ホワイトアウト状態で、車での金精峠越えが心配されましたが、全員無事宿に到着できました。お疲れ様でした。



風と霧の中、山頂目前の登り

【1B】紅葉の鳴虫山 参加者人数・・・10名

岡田光豊(6期)

アカヤシオでお馴染みの鳴虫山ですが、紅葉の季節は初めての面々。期待に胸を膨らせたものの生憎の曇り空。東武日光駅から直ちに歩き始め、杉木立の中を往くと時々霧雨となるではありませんか。

名前の如くやはり「泣き虫山」なんだと思いはじめるところ、右手東側がパッと開け、神主(こうのす)山に到着です。ここでしばし休憩、黄色に染め抜かれたツツジを見越して日光市街が望めました。霧降高原から赤薙山は霞んでいます。

鳴虫山頂上では、見えるはずの白根山、男体山はガスで隠れていましたが、黄金色に輝く木立に囲まれて昼食をとりました。

下りは、急斜面と木の根のため、もっぱら足元に気を配りましたが、紅葉は素晴らしく、深紅のもみじ葉に気を取られるあまり、延べ6件の尻もち事故(?)がありました。加えて足ツリも発生し、標高差544mのコースでしたがかなりの手(足)ごたえのある5時間を満喫し、「憾満が淵」の紅葉と赤エプロンの地蔵群に別れを告げました。



沼田駅、上毛高原駅にてそれぞれ参加者をピックアップして、途中のコンビニで合流し散策コースに出発しました。生憎の曇り空、雨を気にしつつ金精峠への道を進みます。晴れていればそれは見事な紅葉だろうと話しつつ景色を楽しみ、湯元温泉の今宵の宿に11時半ごろ到着。身支度 記念写真をとり出発。傘をさすほどの雨でもなくゆっくりと湯ノ湖の西岸を進みます。



このコースは湯の川に沿ってだらだらと下っていくコースなので、ちょこっと登りがあると「登り 登り」と冗談を言いつつ湯滝入口に到着。

30分も歩かないうちに昼食となり、湯川に浮かぶ鴨を眺めながらゆっくりと弁当を食べました。湯滝は水量も多く紅葉とマッチして見事な景観でした。このコース唯一人出の多い所で、後はほとんど人に会いませんでした。

湯川沿いに紅葉黄葉を楽しみつつ泉門池に到着。ここから本日唯一の登り...といっても少々ですが...笹原を行き小田代ヶ原入口にでます。小田代ヶ原は全体が黄と茶に彩られ見事なまでに美しく、有名な白樺一貴婦人一がすっかり落葉してすっきりと立つ姿を存分に楽しみました。

ここからはワンピッチの歩き。赤沼のバス停に到着したのは3時半。丁度バスが出た後だったので、7期の服部さんに迎えの要請をしてそれに乗る人、バスで帰る人と別れてこのコースは終わりました。

天候がちょっと残念でしたが、心配していた雨も殆ど無く、のんびりと歩け、お喋りも弾み楽しい一日となりました。

【2C】 西ノ湖散策 参加者人数・・・32名

集い2日目、26日（月）は朝から本格的な雨が降り、2Aコースの「男体山」、2Bコースの「大真名子山」が急遽中止になったため、2日目の山行は2Cコースの「西ノ湖散策」コースのみになり、そのため参加人数32名という大所帯となりました。



紅葉真っ盛りの日光だが、さすがこの雨の中歩く人は少なく、赤沼から出る西ノ湖行き低公害バスは、われわれの貸切状態でした。西ノ湖入り口でバスを降り唐松林の気持ちの良い静かな散策路にわれわれの傘の列が続きました。道は広いしわれわれ以外歩く人もないので雨の中、西ノ湖を目指して三々五々歩きました。西ノ湖は雨の中静かに霧に包まれ幻想的でした。

雨が強くなってきたのでゆっくり休むこともなく中禅寺湖の千手ヶ浜へ向け出発しました。笹原の雑木林はところどころに赤や黄色に色づいた木々が点在し、雨の中の散策もまた趣があつて素晴らしいものでした。千手ヶ浜は雨に加えて風も吹いてきたため早々に引き上げてバスで赤沼へ戻りました。「紅葉真っ盛りの日光でこんなに大雨の中歩くことなど個人では絶対経験できない、雨の紅葉もすばらしいものだ」などと慰めとも負け惜しみともとれる会話も聞こえる結構楽しい半日でした。

米国東南部ケンタッキー州、フライドチキンやバーボン、ダービー等で州名は有名だが、北米の中でその位置を的確に指示できる日本人は少ない。当然、ほとんどの人はそれ以外にこの州について知っていることは少なく、現在の私が住む町、エリザベスタウンの地名も、映画化された記憶を持つ方も少ないだろう。

ただ、わが町から北へ15マイルのフォートノックス基地、というと、「ああ、あの金塊が保管してある米軍の・・・」と言う人も出てくる。映画007 ゴールドフィンガーでは、保管金庫に仕掛けられた原爆を巡って最後の戦闘シーンがここで撮影され、我々の世代ではこの映画を観た人も多いのではないだろうか。後は「マイ・オールド・ケンタッキーホーム」か。

いろいろな縁が重なり、退職後の就職地にここを選んではや3度目の冬を迎えようとしている。定年退職した時には、もう学校教育から離れようとしていたのに、「何かと何かは3日やったらやめられない」の諺どおり、県に2年の御礼奉公の後、また現場へ戻ってしまった。文科省の認可を得た学校、と言っても、日本人学校のない地域にある北米の日本人補習校である。

現職の時代、既に香港の日本人学校勤務は経験していたので、海外への抵抗感はなかった。小さな45名ほどの補習校であるから、学校管理よりも学習指導に直接携わることが大きな仕事である。この年齢になって、再び児童生徒に黒板を背にして立つ楽しさと、東の異文化をしばらく味わおうと、成田からシカゴまで14時間、シカゴからルイビル空港までマイクロバスのようなジェット機でまた1時間、車で更に小1時間の旅でここにやってきたわけである。

補習校では、中学生に国語と数学を指導することになっていた。中学の国語と数学の指導は私には無免許運転であるが、200名を越す大規模な補習校以外は現職の教員はいないのが普通で、先生は皆、現地在住の奥様先生である。教員免許を持ち、教職経験者は私と家内だけだった。

もう30年も昔、カリフォルニアとマイアミでしばらく研修生活を送ったことはあったが、生活してみないと分からないことが一杯あるのは当然だった。アメリカは、大都市以外はみんな田舎と言っても過言ではない。

このエリザベスタウン辺りには貨物鉄道以外に公共交通機関はなく、タクシーだって見当たらない。むしろアーミッシュの乗る馬車に会うことの方が多いくらいであり、赴任して真っ先の仕事は英会話教室に通うことと車の運転免許を取ることだった。

日本でこそ40年のバイク暦があったが、四輪車に乗るのは初めてで、むろん免許も無かった。

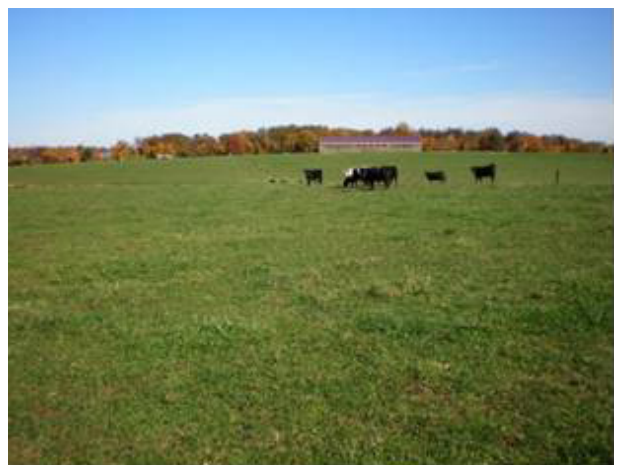
しかし、この田舎町は車道が広く、歩行者や自転車はほとんど居ないため走りやすさは日本の比ではない。

車は生活必需品であるから、合格時にはたった12ドルで免許証をくれたのである。

アメリカに縦横に走るハイウェイは何処まで行っても無料なのだが、広大なこの国の景色は数時間走ってもほとんど変化が無い。

牧畜と農産のこの州では、田舎道の両側は樹林と点在する住宅、そして牛や馬の牧場が広がり美しい地域が続くが単調である。香港が、バス1本、フェリー1本で山にも離島のハイキングにも行けたのとは大違いである。

わが町からカーブの少ないハイウェイを時速120kmで南東に6時間走って、ようやくアパラチア山地の一



いつでもどこでもこの景色

角にたどり着く。

樹林帯と野のトレールは多いが、山登りなどは遠い世界なのである。

しかしまた、このアパラチアントレールというのも、標高は低く険しさはないものの南北に 3000Km だから、日本列島の縦走より長い。緊張しながら追い抜いていくトラックやトレーラーの馬鹿でかき、道中のレストランのランチの量、飲み物のカップの大きさ、男子トイレの便器の高さ、あまりにも肥満した米国人、もう私は驚かなくなってしまったけれども・・・。

治安もよく物価も安いケンタッキーである。だが、どこの国にも光と影があるように、我々普通の暮らしをする者にもこの強大な国の持つ矛盾のようなものは常に降りかかる。

アメリカ人の友人は何時も言う。「アメリカで金持ちは医師と弁護士、保険会社だけだ」と。医療費の高さ、各種の保険料、教育にかかる費用などは、リッチとプアーで大きな格差があるし、またあって当然のような政策である。

大都市に溢れるホームレスや物乞いの多さと郊外の豪邸、セレブの生活、知識人と貧困階層の意識の違い、仕事に対する忠誠心の差、そして犯罪の多さ。何時も買い物に行くウォールマートの入り口や広告チラシには、常に 10 人もの児童や女性の「私を探して」の写真が載っている。

日本では無料の救急車も、ここでは 500 ドルはとられる。高くなったとは言え 3 割負担で治療が受けられ時間外でも、顧客に必要ななら少しはサービス仕事をしてくれる日本とここは違うのである。

塩分が強過ぎる加工食品、糖分過多のケーキやパイはつらい。特にこの地方暮らしでは和食への執着が増加する。和食レストランがあってもコックは日本人でなく、味付けは米国人好みで、高いのによく繁盛しているのが不思議だ。ま、世話になっている国だからこれくらいにしておこう。社会の矛盾や生活への不満は国の内外を問わずあるものだ。

老齢の家族や残してきた雑事の他にも、日本の満開の桜便り、聳え立つ信州の山々、紅葉の古寺の庭、ワングルの古い仲間との温泉や山行を思い出すと、もう帰るべきだったと思う。しかし、これもまたこの地に生活しなければ実感できなかったことに違いない。ゆったりした時間の流れ、広大で美しい景色、変化に富んだ季節、私や家内を大事にしてくれる日本人社会や米国人の居合いの弟子達（何を隠そう、私はこの地に初めて日本のサムライ文化を持ち込んだのだ）のため、もう少しここに残ろうと決心したのである。



アパラチア山地の一角スモーキーマウンテン (テネシー州)

■ YWV現役部員の活動紹介

主将 茂呂将典 (51期)

夏合宿報告記 (8月23日～27日)

夏合宿は、南アルプスで実施し、総勢9人という、最近ではまれに見る大人数が参加しました。

北沢峠から入り、仙丈ヶ岳、北岳、間ノ岳、農鳥岳と縦走し、奈良田温泉に下りました。

天候にも恵まれ、充実した夏合宿となりました。



夏合宿壮行会 (8月22日)

OB6人と現役6人で楽しく賑やかに実施

現役の旺盛な食欲にOBからは嬉しい悲鳴が

秋山山行 (10月4日) セツ石山

予定では日帰りでも雲取山に登るはずでしたが、当日の時間の都合上、その手前のセツ石山のピストンになりました。

早めに下山した後は麓の温泉でゆっくりしてきました。

学園祭 (常磐祭) 訪問

10月31日(土) 気持ちの良い秋空の中編集委員と会計担当の3名で常盤台キャンパスで行われている学園祭に行ってきました。ワングル部員たちは今年もカレー屋を出店し、51年目という伝統をしっかりと守っていました。

今年の売りは「米」。部員の実家のついでで宮城のコシヒカリを使いおいしいカレーになりました。

「朝10時から夜9時までカレー屋で、タマネギ切ったりご飯を炊いたり・・・模擬店は疲れます」(1年 三国談) →



※ 現役部員のホームページ <http://www25.atwiki.jp/ynuww/>

■ 編集委員会からのお知らせ

○郡司直樹 (4期) さんが朝日新聞に登場

11月20・21日の朝日新聞朝刊、生活欄「患者を生きる」にワングルOBの郡司さんが目の病気と治療について取材を受け、写真付きで登場されました。詳しくはOB会のHP、またはアスパラクラブでご覧下さい。

○編集委員会では皆様からの投稿をお待ちしています。

自由投稿コーナーの原稿、写真、スケッチなどどしどしお寄せ下さい。

宛先 下村 蓉子 (10期) shimomurayouko@ybb.ne.jp

松本真理子 (8期) marihiro@cc.catv-yokohama.ne.jp

石垣 秀敏 (20期) gakky@s2.dion.ne.jp



紅葉の河津七滝と踊子像

09.11.28

撮影 4期 谷上氏

YWVOB 会会報第 43 号

発 行 行 : 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

発 行 日 : 2009 年 12 月 26 日

発 行 責 任 者 : 鈴木弥栄男(9)

編 集 責 任 者 : 編集委員長 下村 蓉子(10)

編 集 集 : 編 集 委 員 松本真理子(8) 石垣秀敏(20)

印 刷 所 : 株式会社 カワチヤ・プリント (東京都港区新橋 5-31-7)

編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。